

## 第26回参議院議員選挙に対する見解

第26回参議院議員選挙は、6月22日公示、7月10日投開票により行われた。今参議院議員選挙は、ウクライナ情勢による物価高騰を受けた経済対策や日本の安全保障政策が主な争点として争われた。

JR貨物労組は、「平和・人権・民主主義」を守り、憲法9条を堅持し、組合員の雇用と生活を守ると共に、北海道新幹線札幌延伸に伴う並行在来線の存続と全国ネットワークを守り、JR貨物の存立基盤確立にむけて取り組む候補者と政策協定を結び、国政へ送り出す取り組みをつくりだして来た。各級機関は、昨秋に行なわれた第48回衆議院議員選挙の総括から、全組合員との対話を通じて、参議院選挙に対する貨物労組の方針を周知・徹底し、組合員の社会や政治に対する関心を高め、必ず投票を行なう取り組みを追求してきた。

その結果、JR総連が推薦・応援を決定した19名の候補のうち、全国比例区では「鬼木まこと」氏、都道府県選挙区では推薦候補者9名が当選を果たした。またJR貨物労組として推薦・応援した候補者は6名が当選を果たした。今選挙の投票率は52.01%で、過去2番目に低かった2019年の参院選の48.80%を上回ったものの、依然として低水準の状況は続いており、国民の関心の低さを表している。

開票の結果、自民党が改選55議席を上回り、単独で改選過半数の63議席を確保した。与党は非改選を含めれば過半数を上回る145議席となった。立憲民主党は改選議席を下回る一方、日本維新の会は改選議席を上回り、憲法改正に前向きな自民党・公明党・日本維新の会・国民民主党などの「改憲勢力」は国会発議に必要な3分の2（166議席）以上を確保する結果となり、憲法改正へむけた議論が大きく加速することが予想される。

選挙運動期間中である7月8日、奈良市で候補者の応援演説中だった自民党の安倍晋三元首相が、銃撃され死亡した。いかなる理由があろうとも、暴力によって言論を封殺することは、民主主義を破壊する行為であり、断じて許されることではない。

私たちは、テロにも戦争にも反対し、誰もが平和で安心して暮らせる社会をめざさなければならない。今参議院議員選挙で当選を果たした推薦議員や、選挙を通じて関係をつくりあげた方々とも連携し、憲法9条を守り活かす仲間の輪をさらに広げていく。そして鉄道貨物輸送の優位性を高め、社会的使命を果たしていくため、労働組合の立場から政策提言実現にむけて取り組んでいく。

今参議院議員選挙の取り組みに対し、職場から奮闘していただいた全組合員に感謝を申し上げますと共に、総団結の早期実現と更なる組織強化を推し進め、組合員のための運動を職場から展開していくことを明らかにし、第26回参議院議員選挙に対する見解とする。

2022年7月11日  
日本貨物鉄道労働組合  
(JR貨物労組)